

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年05月29日

計画の名称	津市都市公園における自然とのふれあい世代を超えた交流の場の創出														
計画の期間	平成30年度 ～ 平成34年度（5年間）											重点配分対象の該当			
交付対象	津市														
計画の目標	地区住民の健康造成とともに、市街地に残された希少な自然環境の保全や、市内有数の渡り鳥の飛来地の保護を図る公園の整備を行う。														
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		209	A	209	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H32末	H34末
1	岩田池公園における遠足等の公園利用回数を0回／年から5回／年に増加する。			
	岩田池公園における遠足等公園利用回数	0回／年	0回／年	5回／年

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定		避難行動要支援者名簿の提供	

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	津市	直接	津市	－	－	都市公園事業（岩田池公園）	公園施設整備0.2ha	津市	■	■	■	■	■	209	1.20	－
											小計						209		
											合計						209		

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
目標の達成状況やその要因を確認・とりまとめを行い、事後評価を実施	交付期間終了後
	公表の方法
	ホームページにて公表
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	岩田池公園のサブエントランスの用地買収等を行い、園路整備に向けた設計を実施し、一部工事を行うことができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
○特記事項（今後の方針等）	
サブエントランスや園路の整備等、早期の供用を目指して事業を継続する。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	5回／年	サブエントランスや園路が未整備であるため、公園の利便性の向上が実現できていない。
	最 終 実績値	0回／年	